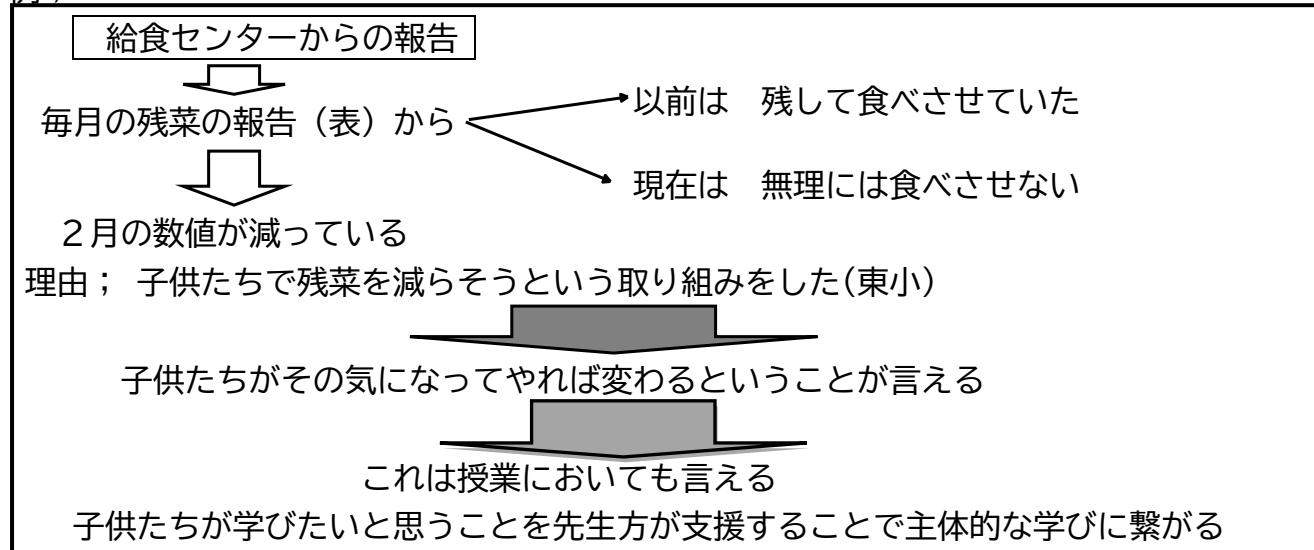


令和6年度 第2回御前崎市スクラムスクール運営協議会 記録報告

1 教育長あいさつ

各学校の運営協議会は学校によってはコミュニティースクールと呼ばれる。教育委員会でもコミュニティースクールを盛んにしたいと考える。各校のそれぞれの活動を共有し来年度に活かしたい。

例；



御前崎市教育委員会からの連絡

御前崎市は第3次総合計画で2026年度より新しい計画でスタートする。

教育委員会では教育振興基本計画を見直す作業をしている。

将来の子供たちをどのように育てていきたいのかを一緒に考えていきたい。

2 学校教育課長あいさつ

第1回目の御前崎市スクラムスクール運営協議会

「変化の激しいこれから時代をたくましく生き抜く貯めには御前崎の子供に必要な力はどんなものなのか、そのために私たちにできることは何か」を共有した。

第2回目の御前崎市スクラムスクール運営協議会

集約参考資料；1回目のまとめ

（前回の会の島田准教授より大人だけの議論だけでなく子どもの考えを取り入れたい）

「現在の各学校の取り組み」

子供の考えを取り入れた教育活動が活発に行われるようになってきた。

大人も子供も当事者意識を持った取り組みが大事である

大人の思いだけでなく子どもの思いを大切に考えていく

アンケート実施 市内7つの小中学校+地頭方小学校；計8校

『おまえざきこどもまんなかアンケート』

子供基本法の4原則に基づき全12問で構成した。



- ・ 子供から見た大人、子供から見た地域への思いなど子供らしい発想でしかも鋭い視点の意見であった。

【これからの御前崎市スクラムスクール運営協議会】

- ・ 御前崎の子供に必要な力はどんなものか、そのために私たちができるとは何か、をいろいろな立場から考えや思いを出し、子どもの意見を取り入れ共有する。
- ・ 学校単位で行われる学校運営協議会では共有したことを参考にし、①学校の課題を解決する方策を協議 ②学校運営に対し意見を述べる などから子供のよりよい育ちに繋げる。
- ・ 園、小、中、高等学校、家庭、地域、行政が一体となりスクラム御前崎をより強固なものにすること。

《連絡事項》

1 2025年度の御前崎スクラムスクール運営協議会の日程

第1回； 令和7年5月21日（水）

第2回； 令和8年3月 5日（木）

2 学校運営協議会の委員報酬について

現 在； 1回参加するごとに報酬を支払う

来年度； 年額報酬とする

理由； ①学校ごとの開催回数が異なると報酬にばらつきが出る

②回数に制限なく実施できる